

はこだて医療・介護サマリーについて

ほくと・ななえ 医療・介護連携支援センター
函館市医療・介護連携支援センター

運用開始にいたるまでの経緯

- ◎ H27年5月に函館市が行ったアンケート調査
- ◎ 27年度の第一回多職種研修会での意見聴取

『医療、介護、在宅、共通の情報ツールで情報共有したい』

『それぞれの機関によって、情報提供の仕方や量に差がある』

共通の情報ツールを求める声が聴かれた事が
きっかけ！



情報共有ツール サマリーの作成へ！！

【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』
平成30年3月 正式運用開始

【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』の

正式運用については、試験運用による段階的な活用施設拡大を鑑みて、

定期的なモニタリングを経た後に「情報共有ツール作業部会」により協議・検討し、

「函館市医療・介護連携推進協議会」へ実施報告。

説明会や各関係団体等へホームページやデータ送信による様式とマニュアルの配布を

広く実施して平成30年3月から正式運用を開始。

現在のサマリー運用について

現在函館市内では、

主要な急性期病院、回復期病院

介護保険事業所、介護施設等

様々なところで活用していただいております。

サマリーのダウンロード方法について

函館市医療・介護連携支援センター

平日8:30~17:00/土曜8:30~12:30/日曜・祝日休み
〒041-8522 函館市富岡町2丁目10番10号 函館市医師会病院内1階

HOME 函館市医療・介護連携支援センターとは 医療・介護連携マップについて 研修情報 **各種ダウンロード** よくあるご質問 用語集 MENU

医療・介護連携マップ

各種ダウンロードをクリック

種別検索

施設名検索

医療機関 入院医療機関 薬局 介護(居宅系) 介護(入所系)

例：医師会病院 検索

- 地域包括支援センター(函館市 北斗市 七飯町)
- 在宅医療を行っている医療機関一覧
- 介護事業所・体制一覧(函館市 北斗市 七飯町)
- 入院医療機関一覧
- 函館歯科医師会(在宅歯科医療のご相談はこちら)

函館市医療・介護連携支援センター

平日8:30~17:00/土曜8:30~12:30/日曜・祝日休み
〒041-8522 函館市富岡町2丁目10番10号 函館市医師会病院内1階

HOME 函館市医療・介護連携支援センターとは 医療・介護連携マップについて 研修情報 **各種ダウンロード** よくあるご質問 用語集 MENU

はこだて医療・介護連携サマリーをクリック

- はこだて医療・介護連携サマリー**
- はこだて入院支援連携ガイド
- はこだて療養支援のしおり
- 急変時対応シート
- 出前講座・出張講座
- 函館市医療・介護連携支援センターリーフレット
- ほくと・ななえ 医療・介護連携支援センターリーフレット

× サイトメニューを閉じる

- 地域包括支援センター(函館市 北斗市 七飯町)
- 在宅医療を行っている医療機関一覧
- 介護事業所・体制一覧(函館市 北斗市 七飯町)
- 入院医療機関一覧
- 函館歯科医師会(在宅歯科医療のご相談はこちら)



また、これまでに皆様から寄せられたご質問とその返答をまとめたQ & A集と、サマリーの活用状況調査の集計結果もあわせて掲載いたしますので、ぜひご覧ください。

ダウンロードはこちらから↓

サマリー原本

- ・ [はこだて医療・介護連携サマリー（令和3年11月修正）（Excel）](#)
- ・ [【プルダウン式】はこだて医療・介護連携サマリー（令和3年11月修正）（Excel）](#)
- ・ [【フェイスシート版】はこだて医療・介護連携サマリー（令和3年11月修正）（Excel）](#)

マニュアル

- ・ [はこだて医療・介護連携サマリー活用マニュアル（PDF）](#)
- ・ [はこだて医療・介護連携サマリー作成マニュアル（PDF）](#)
- ・ [基本ツール作成評価基準マニュアル（PDF）](#)
- ・ [記載例マニュアル（PDF）](#)

参考資料

・ [応用ツール@はこだて医療連携センター（PDF）](#)

他機関主催 110件

ほくと・ななえ医療・介護連携
支援センター主催 2件

月間アーカイブ

2022年

12月	11月	10月	9月
8月	7月	6月	5月
4月	3月	2月	1月

2021年

4月	3月	2月	1月
----	----	----	----

2020年	2019年	2018年
-------	-------	-------

サマリーはこちらをクリックすると
エクセルファイルがダウンロードされます

各マニュアルはこちらをクリックすると
ダウンロードできます



サマリー構成

1. 基本ツール 情報共有の基本様式。

2. 応用ツール

基本ツールに記載されている「特別な医療」等を
要する場合に標準情報を記載し作成します。

2つのパターンで構成

基本ツールの作成について

はこだて医療・介護連携サマリー【基本ツール】

管轄提供先 施設名称	御中	管轄提供先 担当者名	様
● 基本情報等			
(フリガナ) 氏名	生年・ 性別等	生 年 月 日	無 身障(級) 無 療育 精神(級) 無 特定疾患()
現住所	電話番号		
居住	戸建() 施設()	集合住宅() エレベータ 有 無	健康保険 国民健康保険 後期高齢者 その他()
要介護度	認定有 効期間	年 月 日	要介護者日常生活自立(要たきり度)
同居家族	無 配偶者 子 子の配偶者 兄弟姉妹 その他()		
連絡先の	続柄	同居 別居	電話
連絡先の	続柄	同居 別居	電話

はこだて医療・介護連携サマリー【基本ツール】

管轄提供先 施設名称	御中	管轄提供先 担当者名	様
● 基本情報等			
(フリガナ) 氏名	生年・ 性別等	生 年 月 日	無 身障(級) 無 療育 精神(級) 無 特定疾患()
現住所	電話番号		
居住	戸建() 施設()	集合住宅() エレベータ 有 無	健康保険 国民健康保険 後期高齢者 その他()

フリガナは自動で出てきます。

自動計算されます。

赤い△にカーソルを合わせると
入力時の参考になるコメントが
でてきます

現住所	男 女
居住	戸建() 施設()
要介護度	年 月 日
同居家族	子の配偶者
連絡先の	同居 電話
連絡先の	同居 電話
● 医療情報等 *歯科医師等	
主病名	
要介護1	
要介護2	
要介護3	
要介護4	
要介護5	
● 身体・生活機能等	
評価日	年 月 日

セルをクリックして
選択して下さい。

要介護度
未申請
申請中
区変中
非該当
事業対象者

要支援1
要支援2
要介護1
要介護2
要介護3
要介護4
要介護5

入されている場合は、
医療機関等名称

基本ツール作成評価基準 マニュアルを作成した目的

指標となる評価基準を設定する事により、
記入者による評価の差異をなくし、
同じ評価基準の中で正確な情報、
イメージの共有を図る。

【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』 基本ツール作成評価基準マニュアル

【身体・生活機能等】

- 起居動作 <手すりや自助具を使用している場合は、使用している状況で評価
(電動ベッドのギャッジアップは含まない)>
 - ・自立—自力で可能な場合
 - ・見守り—自力で可能であるが、転倒や転落等の危険があるため、すぐに何らかのサポートを行えるよう一連の動作に常に介護者が付き添う必要がある場合
 - ・介護者が常に付き添う必要はないが、確認、指示、声かけが行われている場合
 - ・一部介助—一連の動作の中で、部分的に介助が行われている場合(※)
 - ※一部の動作への介助に長時間を要し、介助時間の大部分を占める場合があるが、このことだけを理由として機械的に「全介助」とは評価せず、あくまで全体の動作を観察し評価することに留意が必要
 - ・全介助—一連の動作の全てに介助が必要な場合
 - ・介護者が自力での起居動作を誘導したうえで、部分的に動作が可能であっても、おおむね8割以上の動作に介助が必要な場合
- 移動 <杖、歩行器、車いす等を使用している場合は、使用している状況で評価>
 - ・自立—自力での移動が可能な場合

応用ツールの作成について

【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』

応用ツールの種類

- ① 付帯情報管理
- ② 褥瘡管理
- ③ 認知症管理
- ④ 食事摂取困難管理
- ⑤ 自己腹膜灌流管理
- ⑥ 酸素療法管理
- ⑦ 中心静脈栄養法管理
- ⑧ 糖尿病治療管理
- ⑨ 経管栄養法管理
- ⑩ 膀胱留置カテーテル管理
- ⑪ 自己導尿管管理
- ⑫ 腎瘻・尿管皮膚瘻管理
- ⑬ 人工呼吸療法管理
- ⑭ 気管カニューレ管理
- ⑮ 人工肛門・人工膀胱管理
- ⑯ 感染に関する管理
- ⑰ 緩和ケア情報共有シート
- ⑱ 特記事項

1	記載日 令和 年 月 日											
2	はこだて医療・介護連携サマリー											
3	応用ツール② 褥瘡管理											
4												
5	1.氏名						生年月日					
6												
7	2.治療医療機関						・担当医					
8												
9	3.自己管理能力（該当するものに☑）											
10	<input type="checkbox"/> 1)自己管理可											
11	<input type="checkbox"/> 2)一部介助											
12	<input type="checkbox"/> 3)全面介助（介助者）											
13	* 家族等の介助状況⇒ <input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不完全 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能											
14	* 特記事項（ ）											
15												
16	4.褥瘡① ・位置（ ）											
17	・ DESIGN-R® 褥瘡経過評価											
18	・Depth（深さ） →（ ）			Granulation（肉芽組織） →（ ）								
19												
20	・Exudate（滲出液） →（ ）			Necrotic tissue（壊死組織） →（ ）								
21												
22	・Size（大きさ） →（ ）			Pocket（ポケット） →（ ）								
23												
24	・Inflammation/Infection（炎症/感染） →（ ）											
25	・現在の使用薬剤および投与量											
26												
27	・ 消毒薬・ドレッシング材の種類・数											
28												
29	～上記薬剤および材料の要継続期間（推定）											
30	・ 使用器具・提供数（※パック療法がある場合記載）											
31												
32	1 ページ											
33	～上記使用器具の要継続期間（推定）											
34	・ 褥瘡処置回数 →											
35												
36												
37	褥瘡② ・位置（ ）											
38	・ DESIGN-R® 褥瘡経過評価											
39	・Depth（深さ） →（ ）			Granulation（肉芽組織） →（ ）								
40												
41	・Exudate（滲出液） →（ ）			Necrotic tissue（壊死組織） →（ ）								
42												
43	・Size（大きさ） →（ ）			Pocket（ポケット） →（ ）								
44												
45	・Inflammation/Infection（炎症/感染） →（ ）											
46	・現在の使用薬剤および投与量											
47												
48	・ 消毒薬・ドレッシング材の種類・数											

応用ツールはここから選択してください



情報共有の要 応用ツール⑱

はこだて医療・介護連携サマリ

記録日 年 月 日

応用ツール⑱ 特記事項

基本ツール（及び他の応用ツール）に記載出来なかった必要な内容を情報提供します。

氏名 生年月日

作成者 所属 記入者

ツール管理者 所属 氏名

はこだて医療・介護連携サマリ【応用ツール⑱】特記事項

応用ツール⑱は
自由に記載するツールです

情報が足りないと思ったら
応用ツール⑱に記載してください

サマリーの理念・目的

はこだて医療・介護連携サマリーを 作成した目的

- ①医療・介護サービスを必要としている高齢者等の
情報を一元的に把握する事
- ②地域で統一されたツールを活用する事によって
関係職種（機関）間で、より活発な連携が行われ、
よりよい医療や介護サービスが提供される事

運用理念

- ◎ 職種にとらわれない、分かりやすい内容
言葉・文字の情報提供
- ◎ “各医療・介護施設内・外” の多職種連携を推進
- ◎ 連携窓口を明確にして密な情報提供と共有を徹底

活用方法

対象者の病状や生活・環境等の変化において調整支援が必要となった場合に

『医療側・介護側との双方連携』において活用する

作成側(渡す側)

- 各医療・介護の施設や事業所における「連携担当者」が活用対象者である利用者本人、または、その家族の同意を得た上で、必要な情報を“多職種”の協力のもと、記入作成しコピーを保管。
- 原本を**連携相手(受ける側)**に迅速に提供します。

個人情報取り扱い

- 数多くの個人情報が含まれているので取り扱いには最大限の注意を払ってください。
- 作成・送付等に関しては必ず、活用対象者である利用者本人または、その家族の同意を得る事を大前提といたします。

【情報共有ツール】『はこだて医療・介護連携サマリー』
みなさんをお願いしたいこと

- 多職種共有のツールとなります。どの職種の方でもわかりやすい言葉で記載をお願いします。
- このサマリーで、より活発な多職種間での連携が進んでいくよう、是非ともご活用ください。